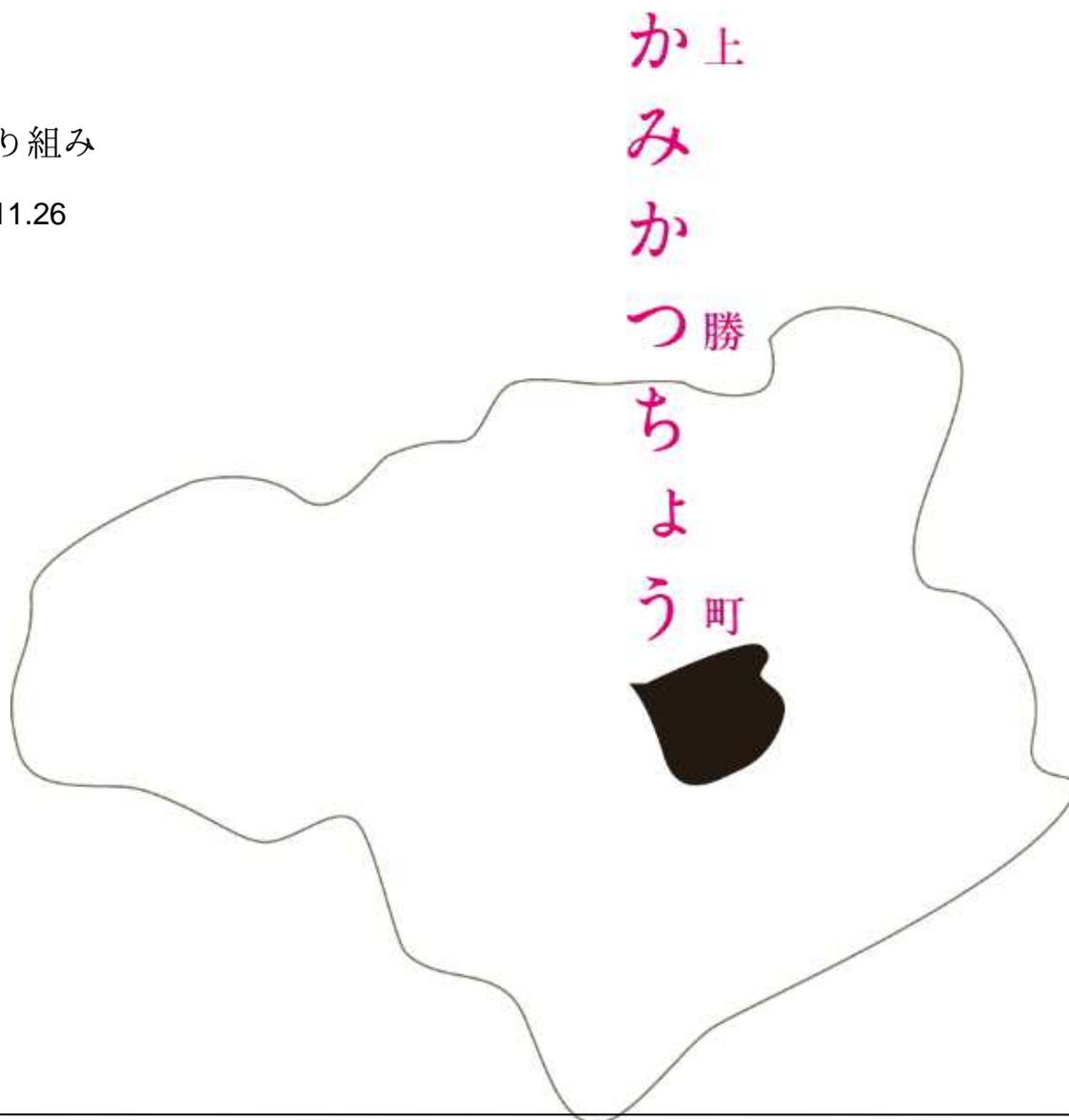


上勝町での取り組み

2013.11.26



地職住推進機構

小林 篤司 (徳島生まれの徳島育ち)

メール: kobayashi@chishokuju.com

FaceBook: 小林篤司で検索



地職住推進機構

食の、お医者さん。  
SPEC  
Bio Laboratory inc.



(株)海苔漁師



略歴

徳島大学卒業後、大学ベンチャーとして(有)MNLを設立、取締役社長に就任。その後、株式会社SPEC、(有)デジトロニクスのCIOを就任し、IT分野と経営をつなげる仕事に奔走する。平成23年には、新たに(株)海苔漁師を設立、同社の代表取締役に就任し、田舎と都会をつなげる仕事を開始。平成23年6月(株)海苔漁師は農林水産省6次産業化計画の第1次認定企業にもなっている。様々な地域マネジメントに関わっていることから、平成23年8月より上勝町地職住推進機構の設立準備室室長として町役場で公務員として働き、平成24年3月には独立法人化、一般社団法人地職住推進機構を設立し代表理事に就任。現在は、地域経営をテーマに活動中。

目指すべきもの ~Mission Statement~

“地域資源”を活用し、“職”創り、“住”める地方を創造する。また、上勝町のゼロ・ウェイスト達成に貢献する

企業沿革 ~The History~

- 2011.06 上勝町より新しい公共事業(※1)のプロジェクト依頼
- 2011.08 エネルギーと宅配事業の開始
- 2012.03 一般社団法人地職住推進機構設立
- 2012.07 新しい公共・共同商店事業開始
- 2013.01 上勝百貨店をオープン



企業情報 ~Profile~

一般社団法人 地職住推進機構

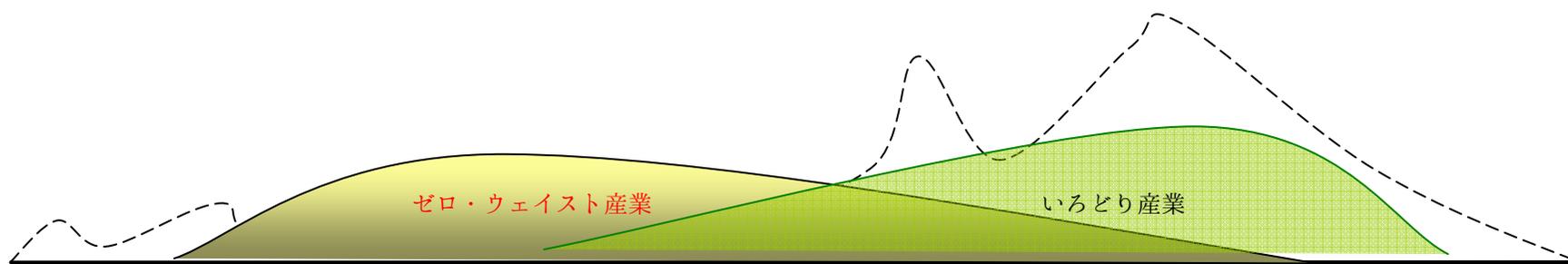
2012年3月30日設立

代表理事 小林篤司

〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町大字福原字下日浦18-1

☎0885-46-0275 ✉info@chishokuju.com

地職住推進機構が推進する“環境”を含むゼロ・ウェイスト事業



上勝町は、四国徳島県の勝浦郡に位置しており、徳島市中心部から車で約1時間程の場所にある。地域資源の活用と持続可能な地域づくり

人口は1,840名863世帯（平成25年10月1日現在）、高齢者比率が52.4%（平成23年11月）という、徳島一の高齢化、過疎化が進む町。



日本を代表するローカルビジネスモデル “いろどり”

- ・ どこにでもある葉っぱをお金に変えた
- ・ 葉っぱは軽量のため、他の農業と比べて高齢者でも取組み易い
- ・ 高齢者によるPC（インターネット）の利用
- ・ 高齢者に居場所と出番、生きがいを与えた地域活性化ビジネスのロールモデル

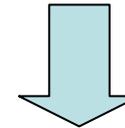


地域資源の活用と持続可能な地域づくり



衰退してしまった産業

林業 → ×  
農業 → ×

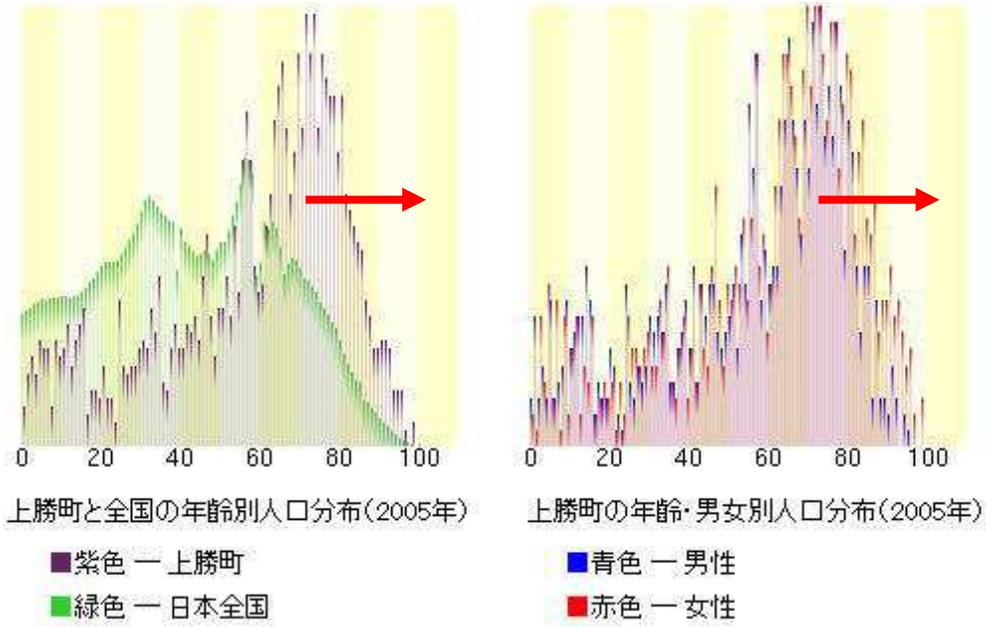


エネルギーを輸出（町外）する町へ・・・

水力発電 → ○  
風力発電 → ○  
木質エネルギー → ○・・・  
+ 買い物難民救済



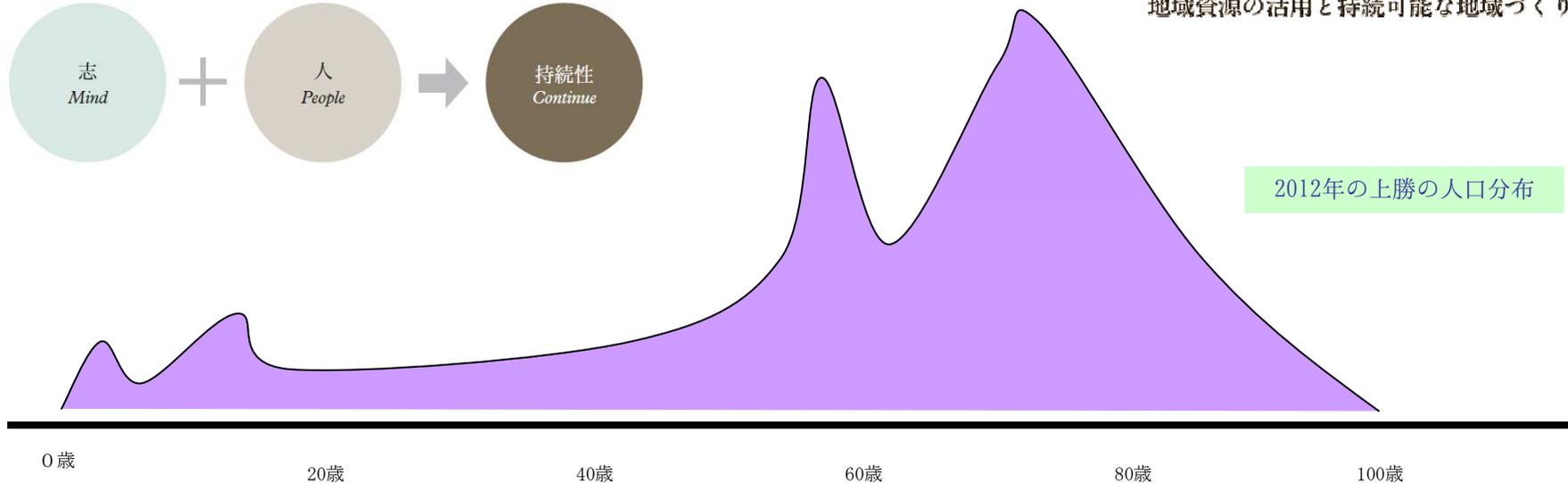
宅配事業は人口減を抑えることは出来ない。  
再生可能エネルギーは非常に未来のある話・・・しかし同じ課題がある



風車・水車は回るが人がない町



再生可能エネルギーのみで町が生き返ることはない→雇用創出をどうするか？  
再生可能エネルギーを取り組まないという話ではないが・・・。

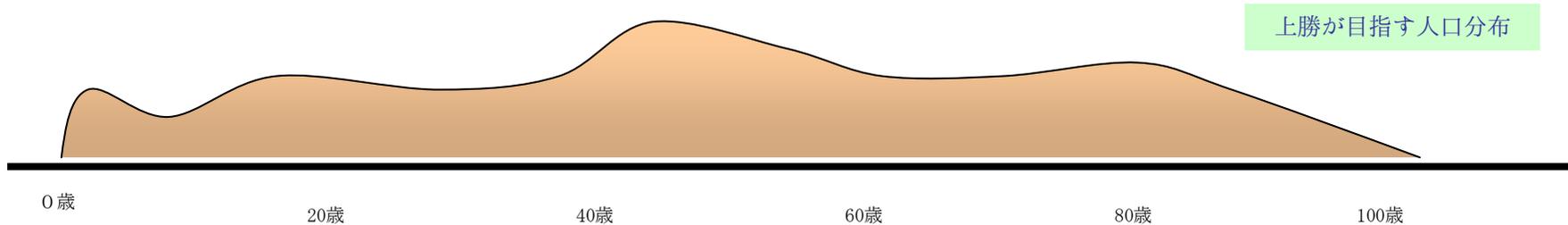


2012年の上勝の人口分布



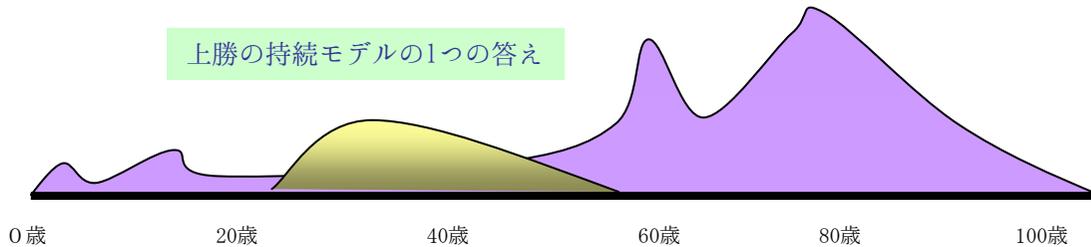
志 (Mind) と人 (People) による持続可能 (Sustainable) とは…

究極的には人口 (幼児・子供・大人・老年) が**一定分布**である社会



上勝が目指す人口分布

短期～中期計画的に必要な施策

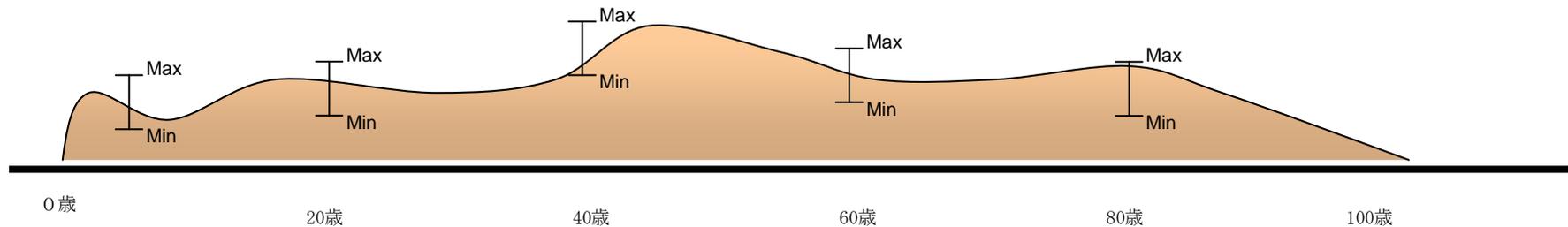


- ・循環型社会・持続可能な社会システムを構築するために、日本のトップクリエイターを集結し、環境と産業を両立する。
- ・上勝のMinimum Levelになっている20～30代に産業力・発信力がある若者を引きつけるプロジェクトを構築する。

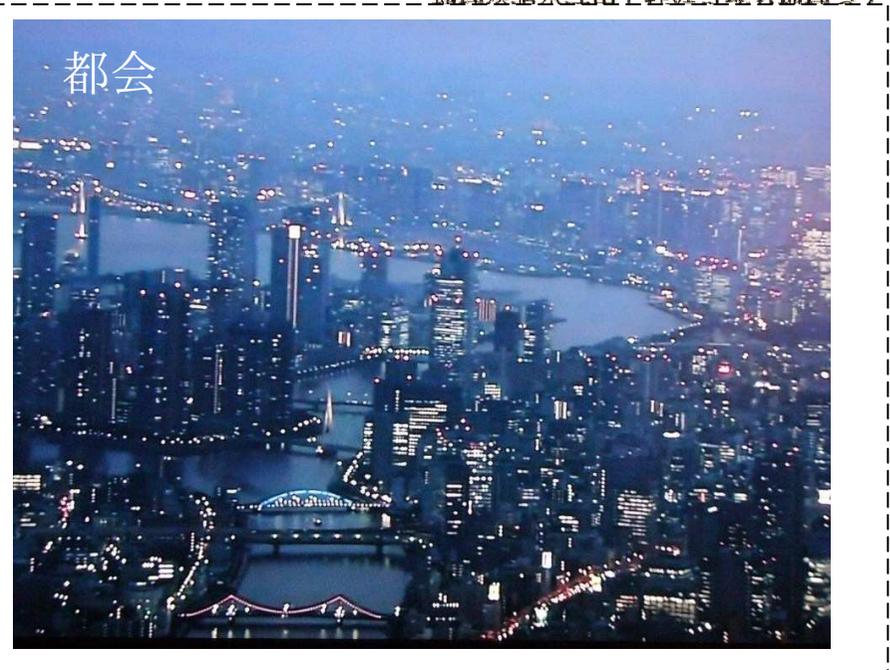
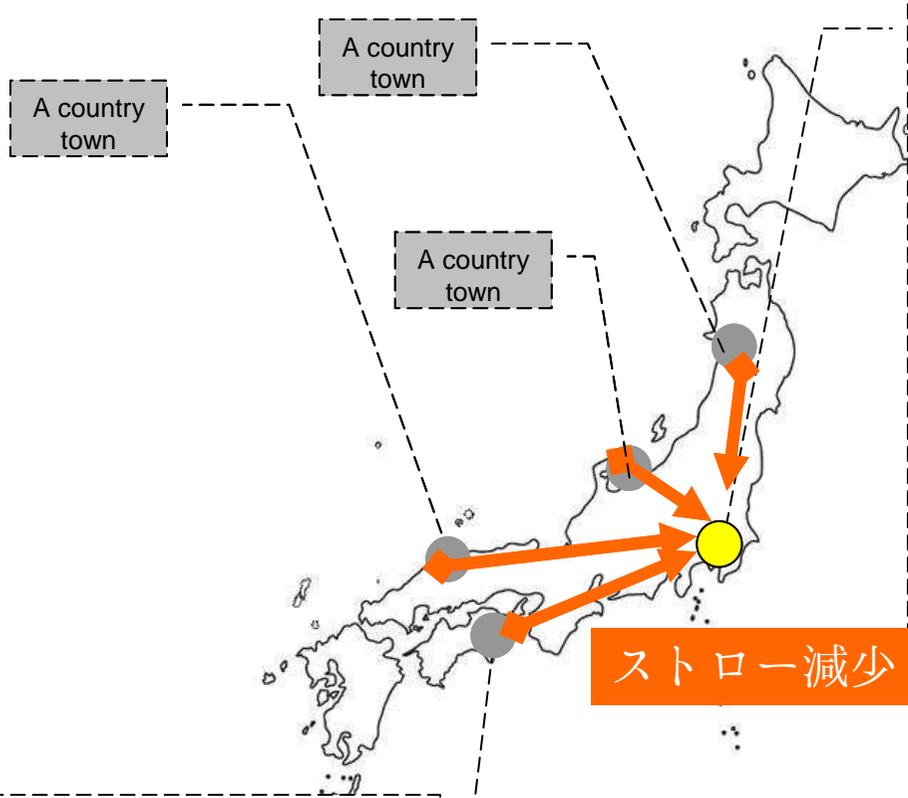
政府指導型・助成金型事業の問題点（経済的に自立しない、プロダクトに賛成しない人のみに焦点があたる）

- 産業 - スローライフを満喫したい若者のみが移住し、助成期間が終了するとまた他の田舎へと移り住む。結果的に助成金の無駄遣い。
- 環境 - 過剰な環境意識からTechnologyを排除し生理的に産業発展に寄与しない人のみが移り住む。

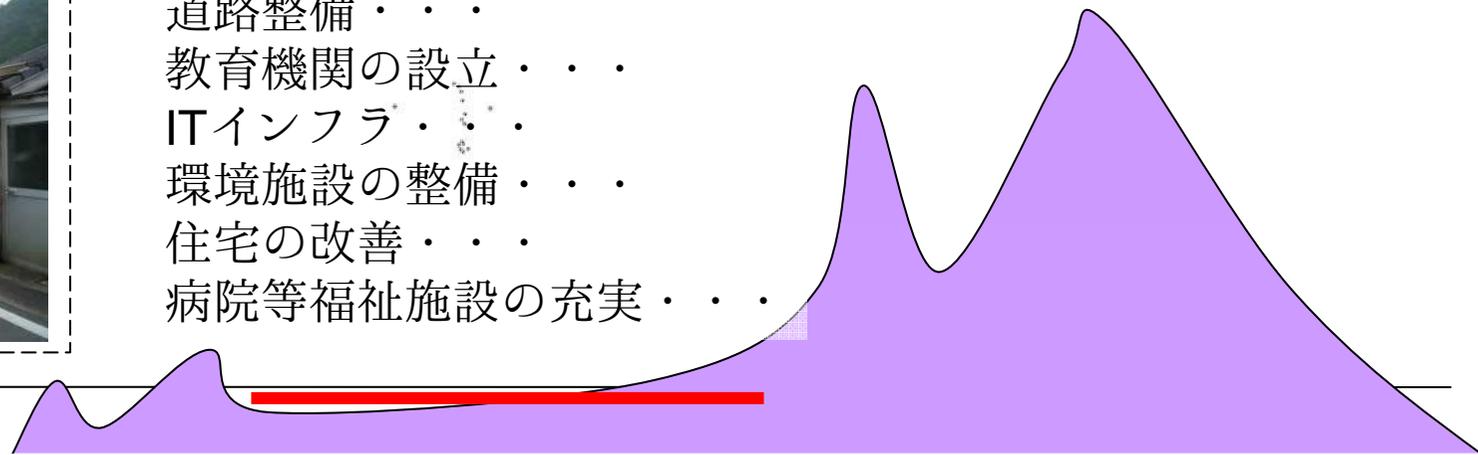
長期計画的に必要な施策



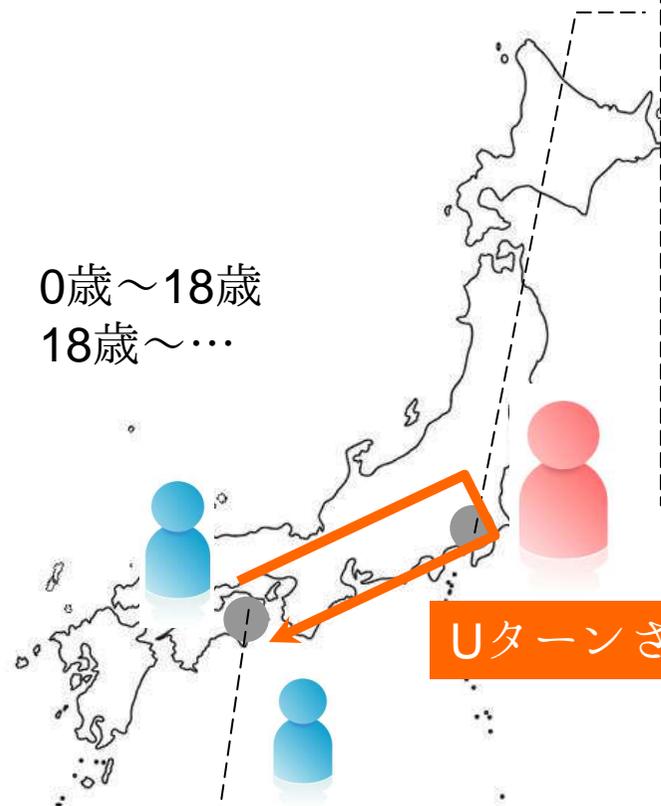
- ・人為的な環境負荷が、自然治癒力以下であること⇨ 高度に設計された環境基準
- ・“暮らし”が設計されていること⇨ 生活・産業に必要な町内エネルギーが、消費エネルギー<創成エネルギーである。
- ・町を形成するために必要な資金源が、町内産業により自主財源化され、消費+投資<収益であること。
- ・人口増減が、町内政治（スモールガバメント）により制御され、人口増減自体がコントロール下にある。
- ・変化すべき生活と、変化させない歴史・知恵・原風景が法的に厳しく管理される社会



- 道路整備 . . . . .
- 教育機関の設立 . . . . .
- ITインフラ . . . . .
- 環境施設の整備 . . . . .
- 住宅の改善 . . . . .
- 病院等福祉施設の充実 . . . . .



田舎 0歳～18歳  
18歳～…



都会 18歳～25歳

Uターンさせる仕組みが必要

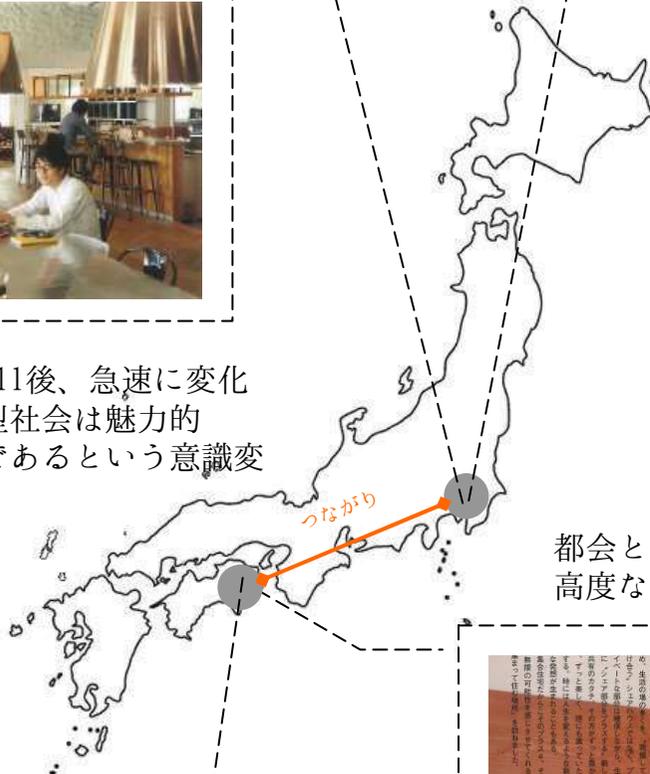


- 道路整備・・・
- 教育機関の設立・・・
- ITインフラ・・・
- 環境施設の整備・・・
- 住宅の改善・・・
- 病院等福祉施設の充実・・・

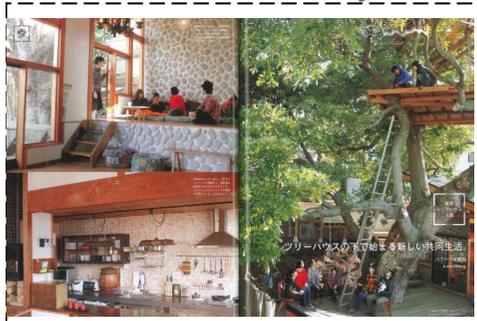
+ 若者に魅力的なブランド  
(仕事・ライフスタイル)



若者の意識は3.11後、急速に変化しており、循環型社会は魅力的（カッコイイ）であるという意識変化がある。



都会と地方の二極化は進むが、上下のない社会へ変化する。高度なITインフラ・交通インフラより、繋がり・価値共有の社会へ。



「ゼロ・ウェイスト」

英単語の「ZERO」と「WASTE」から成り、「ごみ」「無駄」「浪費」が「ゼロ（ない）」という状態を意味する。上勝町は2002年に「2020年」までに上勝町のごみをゼロにするという目的を立て、ゼロ・ウェイストの推進に努めている。

ゼロ・ウェイスト → 日本初のゴミゼロ宣言 3Rの徹底 日本一のポテンシャル

**上勝町資源分別方法** 2010年 3月発行

**毎日の収集** 場所・日比谷ゴミステーション  
時間・毎日 午前7時30分～午後2時まで  
(毎生ゴミは、12月31日～1月2日までお休みします)

**古紙類**

- ① アルミ缶
- ② スチール缶
- ③ スプレー缶
- ④ 金属製キャップ
- ⑤ 透明びん
- ⑥ その他のびん
- ⑦ その他のガラス類・陶器・磁器類
- ⑧ 乾電池
- ⑨ 蛍光灯
- ⑩ 省エネ灯管
- ⑪ 電球
- ⑫ 生ゴミ
- ⑬ 農薬用廃ビニール
- ⑭ 農薬のびん等

**毎週日曜日の収集物**  
午前7時30分～午後2時まで  
1戸当たり100円

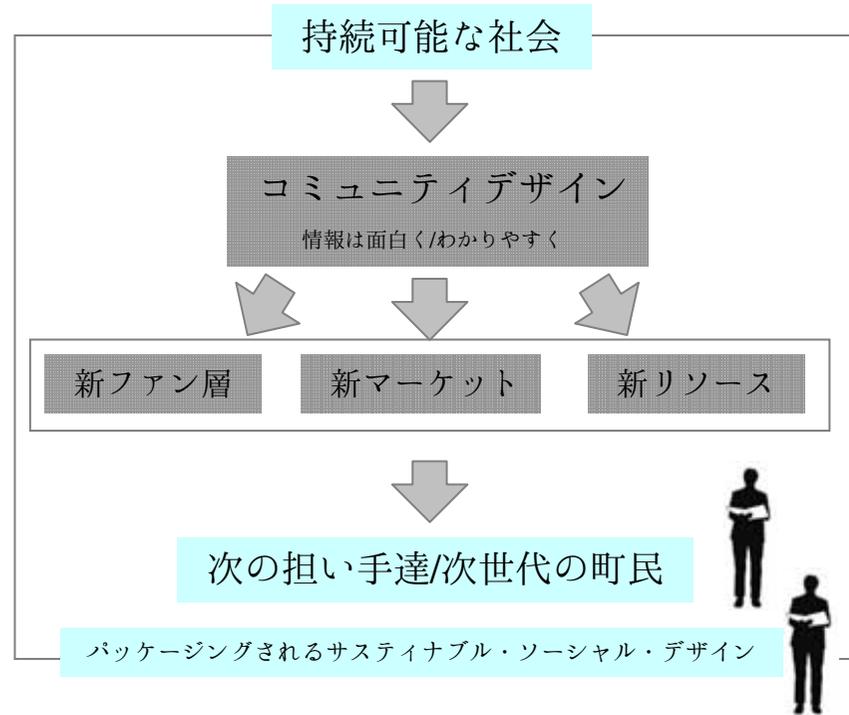
- ⑮ 粗大ゴミ
- ⑯ 家電製品
- ⑰ 生ゴミ
- ⑱ 農薬用廃ビニール
- ⑲ 農薬のびん等



上勝町に**ゴミ収集車はゼロ**（住民全員がゴミステーションに持参）  
分別は**脅威の34分類**を自分が行う（細かくすれば50種類以上）  
くるくるショップ…誰でも無料で持って帰ることができる（持ち込みは町民のみ）

目的：世界に発信するゼロ・ウェイストモデルを構築し、  
上勝町にサステイナブルアカデミー創設の可能性/現実性をプランニングする。

## 地職住 推進機構



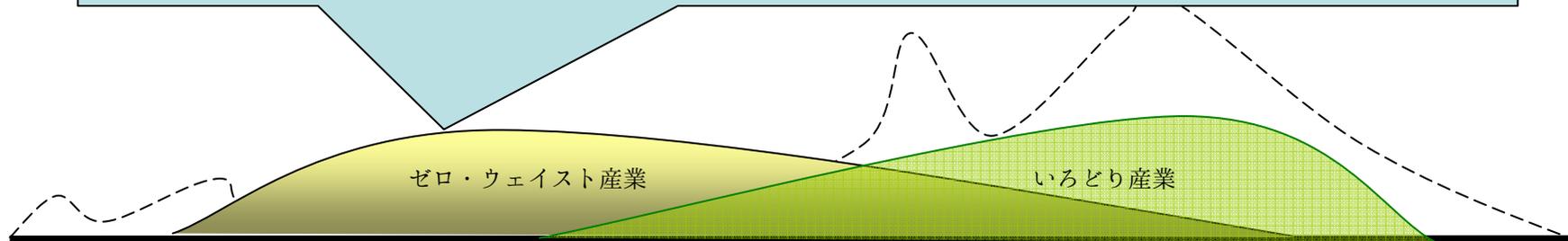
地域資源の活用と持続可能な地域づくり

ゼロ・ウェイストの推進に様々な取り組みを行ってきたが、次の段階として、本町の人口の約半数にあたる高齢者に優しい分別・減量方法の仕組みを作る必要がある。高齢者に優しい普及啓発方法や支援づくりの体制をつくる為に、ごみの排出状況や量の実態を調査し、高齢者が抱える分別やごみ減量の問題を把握し、ゼロ・ウェイスト推進計画を策定する。

そして、焼却埋め立てに頼らないごみ処理について徐々に全国に賛同者が増えている中で、少子高齢化が進む地域でのゼロ・ウェイストのモデルを作る。

そして、他市町村を始め全国、全世界から人材を受け入れ、ゼロ・ウェイストの理念に賛同し、本町の経験を糧にして自地域における実践・行動ができる人材を育成ができるサステイナブルアカデミーの創設を検討する。

世界が注目するサステイナブルアカデミーを創設し、  
ゼロ・ウェイスト社会を発信しながら教育モデルにより  
事業が継続できるプランを策定する。

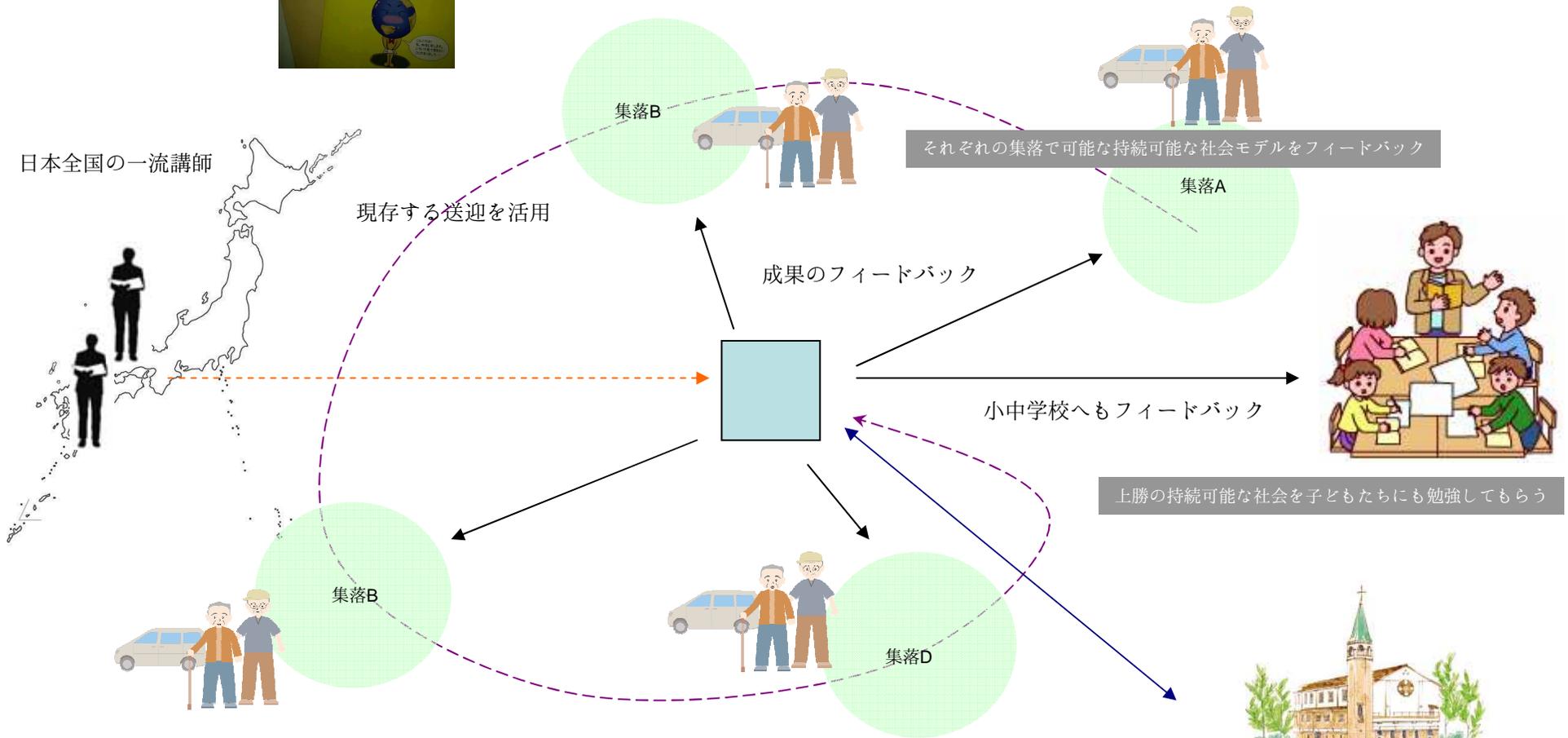


地域資源の活用と持続可能な地域づくり

## 教育手法の検討



今回教育モデルとしては、世界的に注目しているESDの手法も取り入れている。短期教育でありながらも、持続可能性を発信するモデルとして上勝をフィールドとして利用する「滞在型教育」を目指す。



※1分野は、林業／農業／社会学／環境／機械設備／ICT／商業etc地域に必要なすべてのジャンルに及ぶ

町外の大学生にもタイアップし、開放する

サステイナブル百貨店 上勝百貨店が2013年1月20日オープン！！！！



2013年2月23日 徳島新聞

# 「無駄ゼロ」の視点で買い物

## 「食料品量り売り」上勝百貨店

上勝町の委託を受けて、み減量につながるため穀品を軽ワゴン車にのせて「無駄ゼロの町」つくり、物や調味料は量り売りし、町内を巡回する移動販売に取り組み一般社団法人。買い物弱者へのも行う。平屋倉庫を改装・地職住推進機構が同町 宅配・回収事業を行うついでして開設した店舗は休憩正木にオーブンさせた 点施設として、作りすぎスペースも備え、ゆっく「上勝百貨店」。食料品 た野菜や果物を農家からりと買物を築しむことや雑貨などをそろえ、こ 回収して店内で販売。商 ができる。(山口和世)



店内には量り売りされる穀物や種類などが入ったガラス瓶がずらり。客は必要な分量だけ購入することができる



店内には休憩スペースもあり、まきストーブの前でゆっくりくつろげる



宅配とは別に週2回、軽ワゴン車で町内各地を回る移動販売。総菜や食料品を扱っている

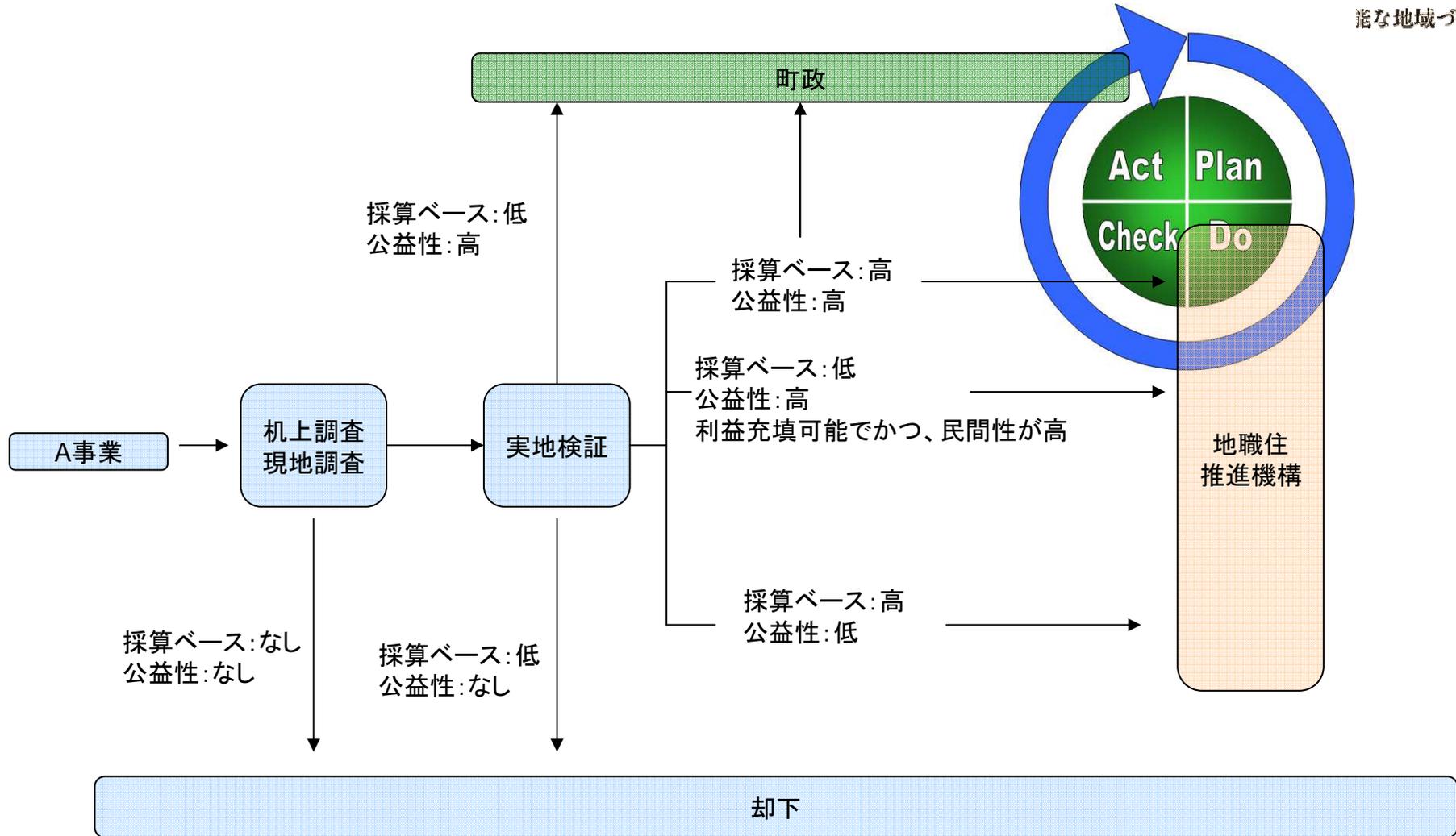
上勝町 10000



使われなくなった平屋倉庫を改装して開設された店舗



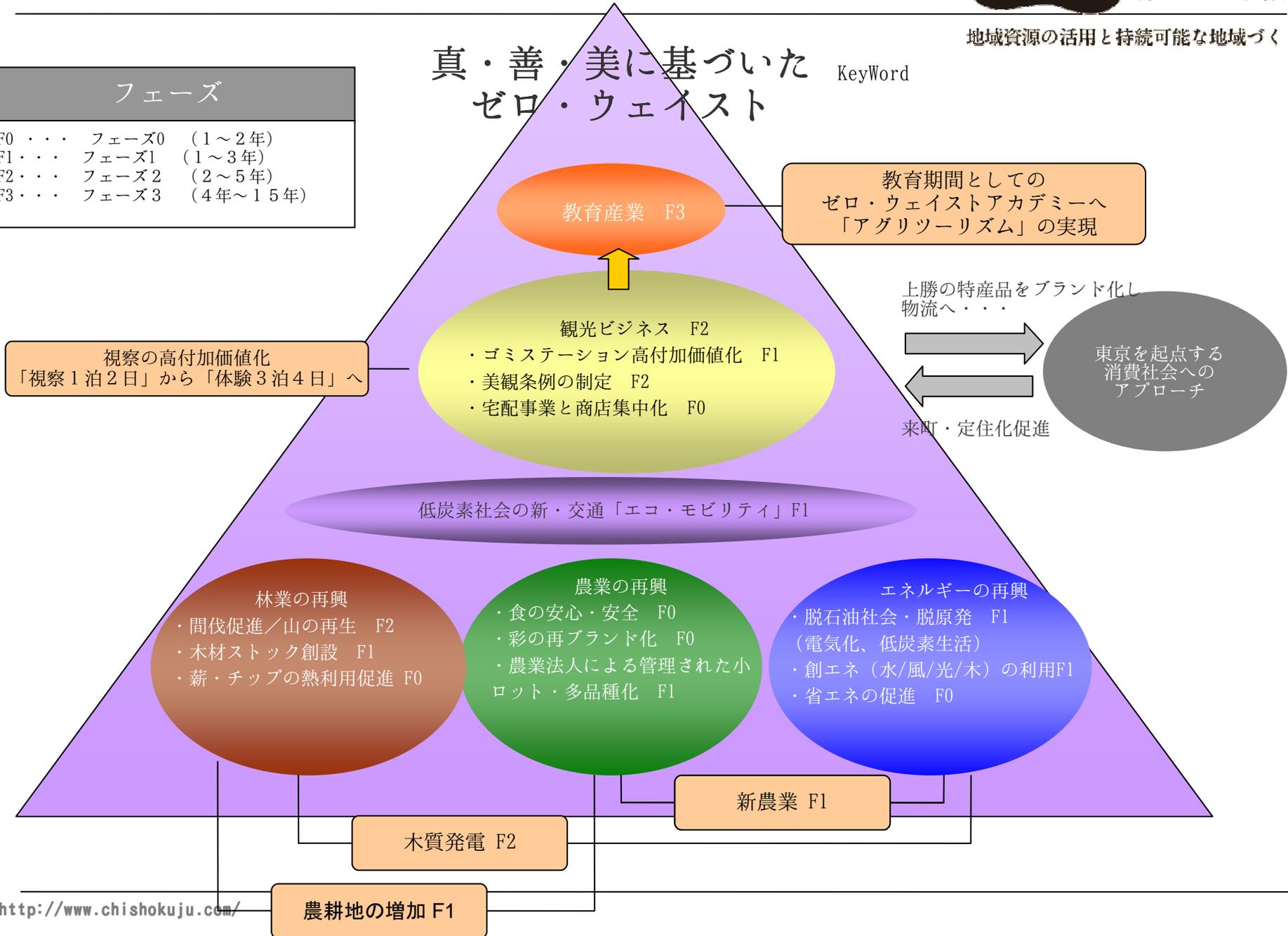
店で販売するため、農家で作りすぎた野菜や果物を回収する地職住推進機構のスタッフ



真・善・美に基づいた  
ゼロ・ウェイスト

KeyWord

フェーズ	
F0	フェーズ0 (1~2年)
F1	フェーズ1 (1~3年)
F2	フェーズ2 (2~5年)
F3	フェーズ3 (4年~15年)



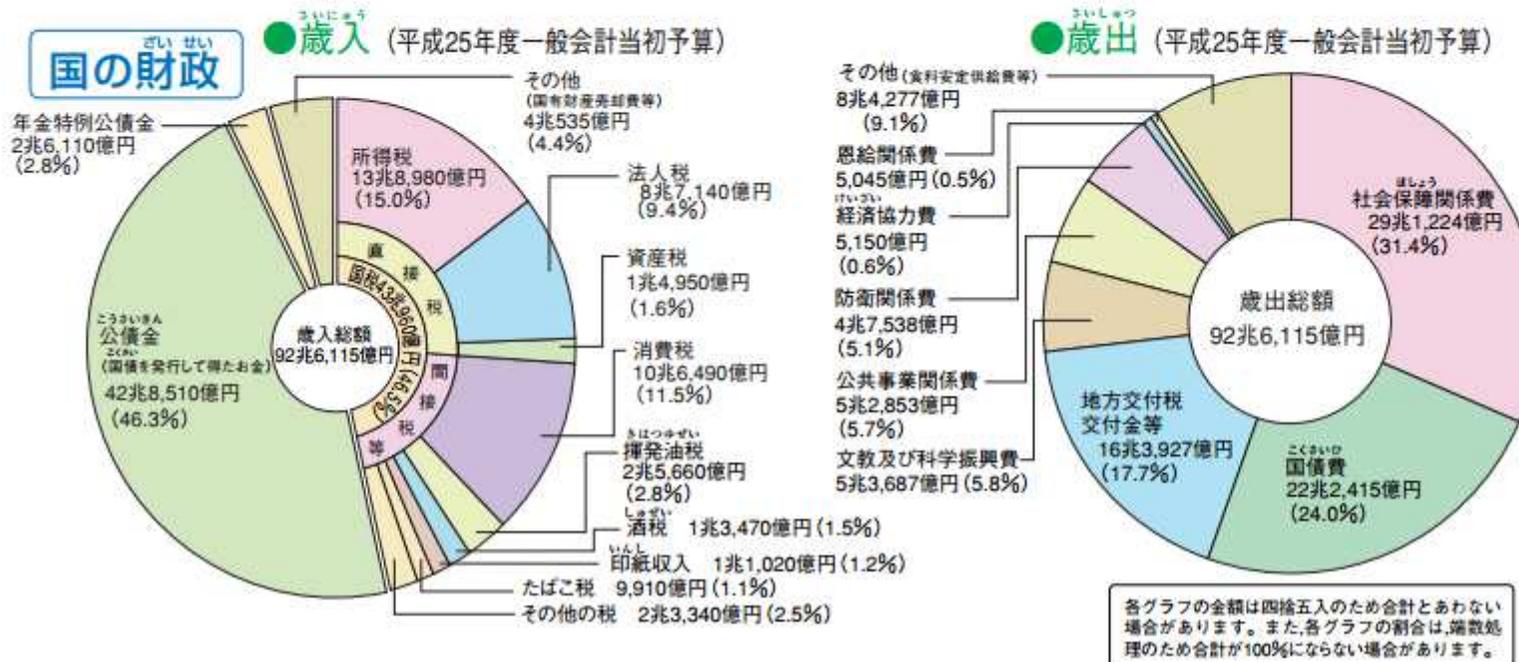
日本大丈夫?? いえ、大丈夫でないですよ?

## ④ 国の財政 (歳入・歳出)

国や地方公共団体(都道府県・市町村)が必要な資金を集め、これを管理し、必要な資金を支出する経済活動を「財政」といいます。

一年間の活動に使うために国や地方公共団体(都道府県・市町村)が集めるお金を「歳入」といい、みなさんのために国や地方公共団体(都道府県・市町村)が使うお金のことを「歳出」といいます。

国の予算は国会で決められ、わたしたちが安心して豊かに暮らしていくために、様々なことに使われています。



上勝のブランドはゼロ・ウェイスト！

他の地域はライバル 地方のサバイバルの時代に突入

都会をうまく使う地方にならないと衰退あるのみ

選ばれる田舎とはなにかを考える！そのためのブランディングと仕組みが必要。

田舎を考える仕事に従事してみて・・・

① やるのは人間だということ。補助金・助成金はあるけれど・・・。

支援してもらおう = 勝手にやってくれるわけではなく、やるのは自分達  
チャンス命いっぱい利用しましょう！

② 田舎で、どうするか？存在意義を地域住民と考える。

地域の位置づけを改めて設定してみてください。  
田舎の問題は、地域をどうしたいか？どう生きていけるか？を問いなおすことです。

③ 地域再生も結局は企業活動と同じ。マーケティングは必須！

作れば売れる時代は終わっています。  
ロジカルでミーシーであるサービスを考えましょう。

④ 地域はブランドで勝負をする時代へ！地域を掘り起こせ！！

なにを変化させ、なにを変化させてはいけないのかを区別する。  
ブランドは魅力的でないと意味が無い。相手のベネフィットを考える。受け入れられるか？

ご清聴ありがとうございました。